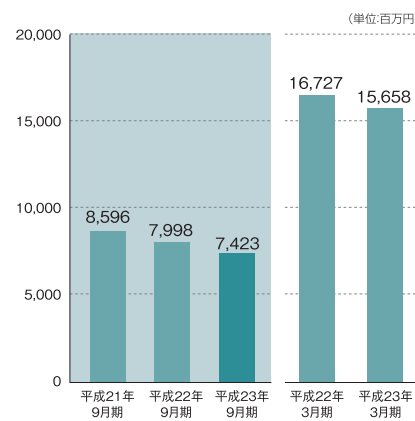


# 当行の業績について(個別)

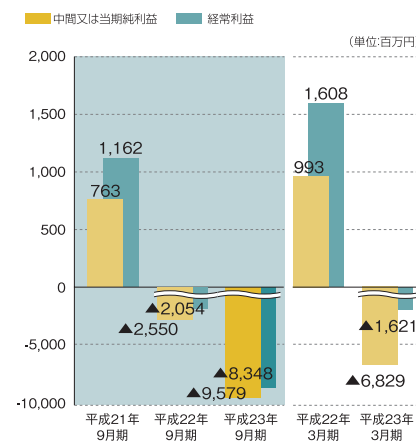
## 経常収益

経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金が減少したことなどから、74億23百万円(前年同期比5億75百万円減)となりました。



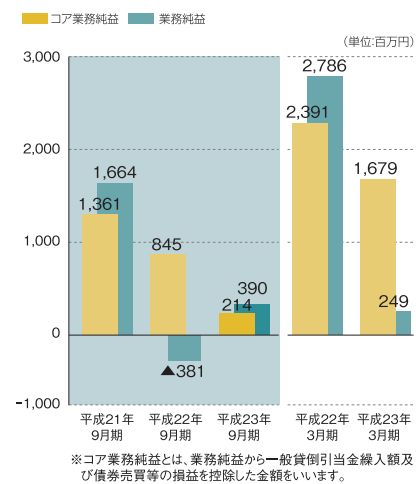
## 経常利益・中間純利益

経常利益は、震災による取引先への影響等を調査のうえ出来る限り保守的に自己査定を行い、貸倒引当金42億円を追加計上したことや、震災及び世界的な金融市場の混乱等の影響により、保有有価証券の減損処理37億円を実施したことなどから、83億48百万円の損失(前年同期比62億94百万円減)、中間純利益は、95億79百万円の損失(前年同期比70億28百万円減)となりました。



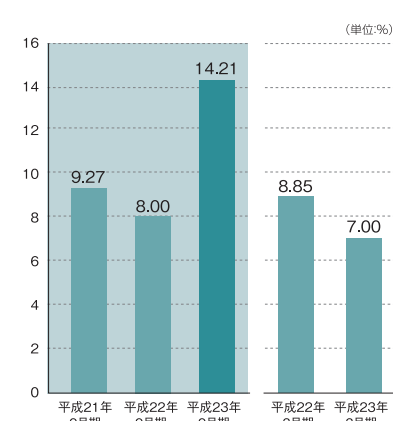
## 業務純益・コア業務純益

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したことや経費が増加したことなどから、2億14百万円(前年同期比6億30百万円減)となりました。



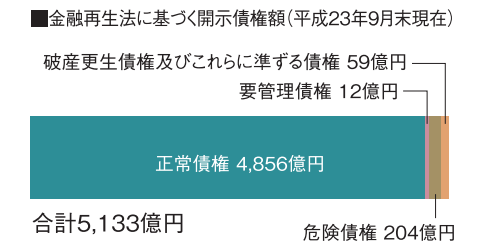
## 単体自己資本比率(国内基準)

単体自己資本比率(国内基準)は、国の資本参加300億円による資本増強により、平成23年3月末比7.21ポイント上昇し、14.21%となりました。



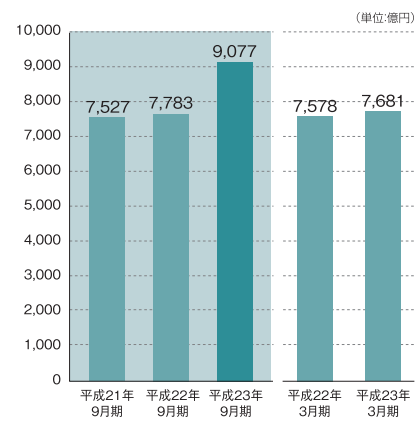
## 金融再生法開示債権

金融再生法に基づいた資産査定の結果、銀行の保有する債権(貸出金・支払承諾見返等)のうち、正常債権以外の債権額は、276億80百万円(平成23年3月末比83億78百万円増)となりました。



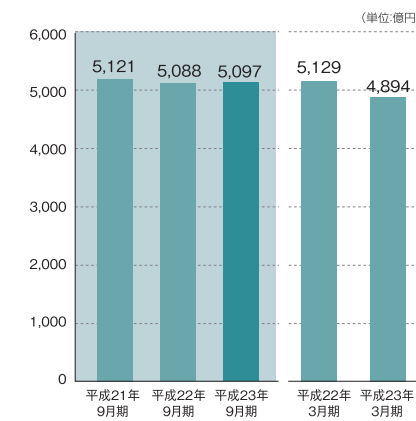
## 預金・譲渡性預金残高

預金・譲渡性預金残高は、震災にともなう各種保険金や義援金等の受入れにより個人預金や法人預金が増加したことなどから、9,077億46百万円(平成23年3月末比1,395億83百万円増)となりました。



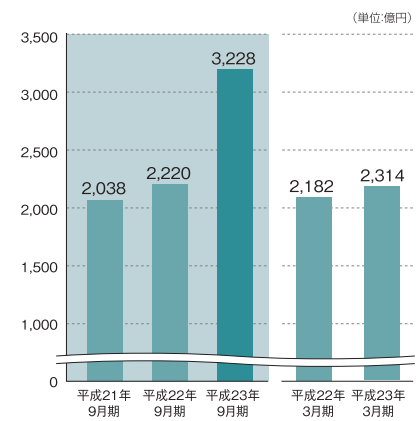
## 貸出金残高

貸出金残高は、中小企業向け貸出や地方公共団体向け貸出が増加したことなどから、5,097億54百万円(平成23年3月末比203億9百万円増)となりました。



## 有価証券残高

有価証券残高は、預金残高の増加にともない、国債を中心に運用額を増加したことなどから、3,228億31百万円(平成23年3月末比913億33百万円増)となりました。



## 格付

当行では、第三者による評価をととして、財務内容の健全性と経営の透明性を積極的に開示していくことにより、株主やお取引先の皆さまに当行の経営状況をより深くご理解いただくことを目的に、株式会社日本格付研究所(JC R)より格付を取得しております。

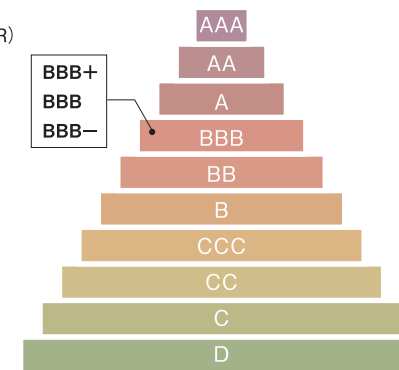
格付機関  
株式会社日本格付研究所(JC R)

格付種類  
長期優先債務格付

格付  
BBB- (トリプルBマイナス)

見通し  
安定的

(平成23年12月末現在)



## 金融再生法開示債権の保全内訳

	債権額(A)	保全額(B)			保全率(B/A)
		担保・保証等	貸倒引当金	その他	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,991	5,991	4,166	1,824	100.00%
危険債権	20,460	19,804	16,108	3,696	96.79%
要管理債権	1,228	794	722	72	64.68%
正常債権	485,694	255,596	252,396	3,200	52.62%
合計	513,375	282,187	273,394	8,793	54.96%

## 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。

## 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。

## 要管理債権

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

## 正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記3つの債権以外のものに区分される債権。

## 不良債権比率の推移

